

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ +85℃（注1）	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃（注2）	
	電 圧	AC 100 V	保存湿度範囲	40% ～ 70%（注2）	
	電 流	0.5 A(信号部)（注3） 3.0A(MF端子部)	使用湿度範囲	相対湿度85%以下 (但し結露の無いこと)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 気 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz) で測定する。	信号部 : 90 mΩ以下 MF端子部 : 30 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 250 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 300 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 60.0 N以下 引抜力 6.0 N以上	○	—
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 信号部 100 mΩ以下 MF端子部 40 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。		○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗: 信号部 100 mΩ以下 MF端子部 40 mΩ以下	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +85℃ 時間 30 → 30 分を 5 サイクル試験する。 (槽の移し換え時間は2～3分)	② 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、25±2℃ 75±5%RH 96 時間放置する。 (試験規格: JIS C 60068)	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	はんだ耐熱性	リフローの場合: ピーク温度 MAX260℃ 220℃以上 60秒以内	外観の変形及び端子などに著しい ガタがないこと。	○	—
		はんだごての場合: こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内		○	—
はんだ付け性	はんだ温度 240±3℃, 浸せき時間 3 秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	—	
					</